

第29週の発生動向(2007/7/16~2007/7/22)

1. 咽頭結膜熱については、上十三保健所管内において第14週から、むつ保健所管内では第16週から、**警報**が継続しています。
2. 水痘については、むつ保健所管内において新たに、**注意報**が出されました。
3. ヘルパンギーナについては、弘前保健所管内において第26週から、東地方+青森市保健所管内では第27週から**警報**が継続しています。

第29週五類感染症定点把握 注:五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

保健所名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点		数	定点	数	定点
(100) インフルエンザ	1	0.07											1	0.02	-1			1	0.08
(72) RSウイルス感染症			1	0.11									1	0.02	0				
(73) 咽頭結膜熱	7	0.78	4	0.44	2	0.22			8	1.33	9	2.25	30	0.71	4			7	0.88
(74) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6	0.67	14	1.56	2	0.22	6	1.20	11	1.83	6	1.50	45	1.07	7			6	0.75
(75) 感染性胃腸炎	19	2.11	10	1.11	10	1.11	6	1.20	10	1.67	15	3.75	70	1.67	19	1	1.00	18	2.25
(76) 水痘	2	0.22	2	0.22	3	0.33	2	0.40	14	2.33	16	4.00	39	0.93	8			2	0.25
(77) 手足口病	1	0.11	7	0.78	2	0.22			3	0.50			13	0.31	3			1	0.13
(78) 伝染性紅斑					3	0.33			2	0.33	9	2.25	14	0.33	6				
(79) 突発性発しん	5	0.56	5	0.56	3	0.33	1	0.20	3	0.50	6	1.50	23	0.55	9	2	2.00	3	0.38
(80) 百日咳															0				
(81) 風しん															0				
(82) ヘルパンギーナ	75	8.33	48	5.33	2	0.22	8	1.60			8	2.00	141	3.36	-17	4	4.00	71	8.88
(83) 麻疹(成人を除く)					1	0.11			1	0.17			2	0.05	2				
(84) 流行性耳下腺炎	8	0.89	1	0.11	14	1.56	3	0.60	4	0.67			30	0.71	10			8	1.00
(86) 急性出血性結膜炎															0				
(87) 流行性角結膜炎					1	0.50			1	0.50			2	0.18	1				
(95) マイコプラズマ肺炎					3	3.00					2	2.00	5	0.83	1				

保健所名	定点数			
	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	内科	眼科 基幹
東地方	2	1	1	0
弘前	15	9	6	3
八戸	14	9	5	2
五所川原	7	5	2	1
上十三	9	6	3	2
むつ	6	4	2	1
青森市	12	8	4	2
合計	65	42	23	11

■ は警報 ■ は注意報 「空欄」: 患者発生数0

表 以外の感染症法対象疾患 (19年計には、今回届出された人数を含む) 報告数は速報値です。

- (9) 結核(二類全数把握疾患): 弘前保健所1人、上十三保健所1人 (19年計:84人)
 (29) つつが虫病(四類全数把握疾患): 八戸保健所1人 (19年計:9人)

病原体検出情報

弘前保健所管内において、第27週に、ヘルパンギーナと診断された患者2名からコクサッキーウイルスA10型が、第28週には、手足口病と診断された患者1名からエンテロウイルス71型が検出されました。

感染症の窓



デング熱

Dengue Fever



蚊が媒介する感染症には、ウエストナイル熱、黄熱、マラリア、デング熱などがありますが、現在、東南アジアでは、デング熱が流行し、昨年同時期を上回る感染者が発生しています。カンボジアでは、およそ15,000人が確認され、182人が死亡しているという報道発表がありました(2007/07/22)。感染地域は、**熱帯・亜熱帯地域のカンボジア、タイ、インドネシア、シンガポール、フィリピン、マレーシア、ベトナム**などです(図)。

《デング熱とは》

- 病原体: デングウイルス。
- 感染経路: デングウイルスを保有している蚊による吸血。
- 潜伏期: 3~14日。
- 症状: 発熱、頭痛、眼窩痛、筋肉痛、関節痛、出血傾向など。
- 予防: **蚊に刺されないこと。**

夏休みに海外に出かける方は、旅行先の感染症情報を確認のうえ、**長袖や長ズボン**を着用し、**虫除けローション**を利用するなどの予防対策が必要です。



図 デング熱流行地域